

# CSRへの取り組み (2023/4 ~ 2024/3)

## 目次

---

CSRへの取り組み	2
SDGsと重要課題	2
取り組みの紹介	2

### ■ 環境

気候変動対策を通じた緩和と適応	3
資源の循環利用の促進	11
社外との連携	14

### ■ 社会

人権の尊重・労働慣行	15
製品の品質と安全	19
コミュニティへの参画と発展	22

### ■ ガバナンス

コーポレートガバナンス	24
リスクマネジメント	25
コンプライアンス	25

## CSRへの取り組み

創業以来、約180年にわたり、私たちがモノづくりを続けてこられたのは、地域の皆さまや得意先の皆さま、そして社会の理解とご協力があつたからこそ。

私たちは、長い時を共に過ごしてきた全てのステークホルダーに敬意を表すると共に、これから新たな時も共に歩んでいきたいと考えています。

持続可能な未来のため、そして人々が健康で豊かな生活を送るため、私たちが取り組めること・取り組むべきことを、常に考え行動し、モノづくりを究め自然との共生、地域社会との協力、文化・芸術への貢献にも積極的に取り組んでまいります。

## SDGsと重要課題

私たちは、これから社会を見据え、SDGsを新たに重要な指標と掲げ持続可能な社会の実現に貢献できる課題の解決に取り組んでいきます。

### 川島織物セルコンの掲げる重要課題と重点目標

#### — 重要課題

医療をはじめ、すべての居住空間の環境を改善する商品を提供し、健康な暮らしに貢献します。また安全で健康的な職場を作っていきます。

ワークライフバランス・人材育成・多様性を推進し、一人一人が最高のパフォーマンスを発揮できる公平で働きがいのある職場を作っていきます。

インテリアファブリックスメーカーとして、環境に配慮した製品・サービスを供給することで低炭素社会と循環型社会の実現に貢献していきます。

#### — 重点目標



## 環境



## 《気候変動対策を通じた緩和と適応》

## 気候変動への対応

## 2030年CO2排出量削減目標がSBT認定を取得

川島織物セルコンは、2030年度に向けた温室効果ガス排出削減の目標について、パリ協定が目指す「1.5°C目標」の水準と整合した削減目標が承認され、国際的なイニシアチブ「SBT (The Science Based Targets)」の認定を取得しました。

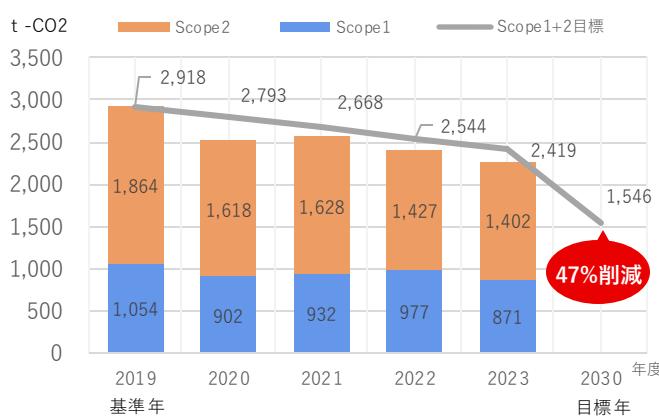
京都の本社に併設の工場（市原事業所）を中心に進めてきたエネルギー使用の効率化、省エネ設備への更新、再生可能エネルギーの導入に加え、開発面では製品に用いる再生原料の使用率拡大などに取り組み、サプライチェーン全体のCO2排出量削減活動を推し進め持続可能な社会の実現に貢献していきます。



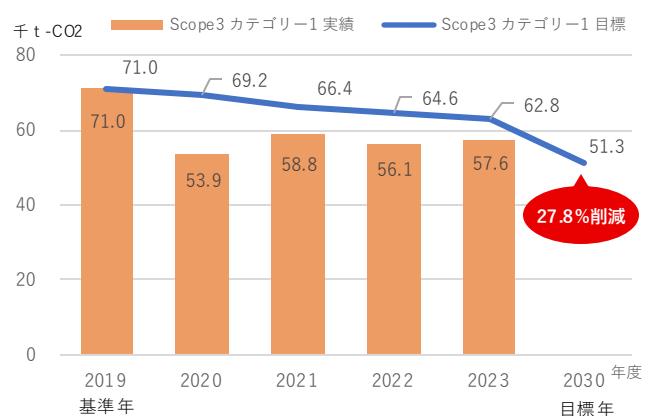
## CO2排出量削減目標

- 2030年度までにScope1（直接排出）とScope2（間接排出）を2019年度比47%削減する。
- 2030年度までに購入した製品・サービスのCO2排出量（Scope3カテゴリー1）を2019年度比27.8%削減する。
- 2027年度までに当社サプライヤーの80%がSBT目標を設定する。

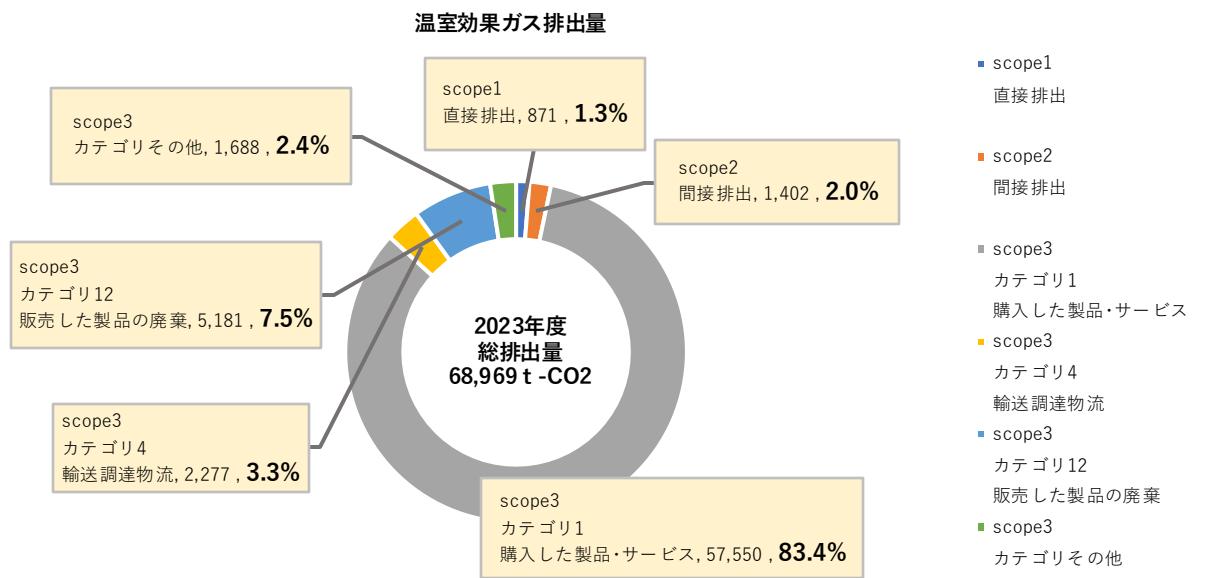
## 2030年度目標 (Scope1+2) 2019年度比47%削減



## 2030年度目標 (Scope3 カテゴリー1) 2019年度比27.8%削減



27.8%削減



カテゴリ	項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
カテゴリ1	購入した製品・サービス	71,033	53,857	58,757	56,069	57,550
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	524	472	494	483	451
カテゴリ4	輸送調達物流	1,775	1,847	2,002	2,109	2,277
カテゴリ5	事業所から出る廃棄物	426	214	205	266	208
カテゴリ6	従業員の出張	518	369	338	338	357
カテゴリ7	従業員の通勤	530	377	446	446	410
カテゴリ9	輸送・配送（下流）	108	107	105	104	118
カテゴリ10	販売した製品の加工	235	199	194	174	143
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	7,103	5,762	5,859	5,582	5,181
合計		82,253	63,203	68,399	65,571	66,696

## エコ・ファーストの約束

### 環境先進企業としての取り組み「エコ・ファーストの約束」

川島織物セルコングループは、グループ一丸となった環境保全活動によって、社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に向けて、次の取り組みを推進します。

1. 温室効果ガス排出量を実質ゼロの実現に向け、すべての事業活動においてCO<sub>2</sub>排出量の最小化を図ります。
2. 循環型社会への移行の実現のための取り組みを推進します。
3. 地域の学校などへの環境学習や従業員への環境教育を通じて、環境教育の振興を推進します。

川島織物セルコンは上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果については定期的に公表すると共に、環境省に報告致します。



## 全国の事業所での取り組み

市原事業所では、重油から都市ガスへの燃料転換・ボイラー施設の蒸気使用設備付近への移設・大型空調器の省エネ型への変更などにより電気・ガスの使用量の大幅削減を行い、CO<sub>2</sub>の削減に努めています。

また、全国の工場や事務所、ショールームなどの電灯のLED化や社用車のハイブリッド化も進め、エネルギー利用の見直しにも取り組んでいきます。



## 環境負荷の低減に貢献する商品の開発

製品ライフサイクルを考慮した環境配慮型商品・技術の開発を進め、地球温暖化防止への対策や、資源循環を促進する商品開発を推進しています。また、製造段階でエネルギー・資材ともに資源効率を向上させ、CO<sub>2</sub>排出量の削減と循環型社会の形成に寄与していきます。

### 環境負荷低減に寄与する商品

当社の商品は環境負荷の低減を目指し、その効果や有効性を公開するため、第三者機関による検証を受け、多くの環境マークを取得しています。

#### — テキスタイル商品

環境への取り組みとして、グリーン購入法の判断の基準であるリサイクル糸採用率の向上と、使用済みカーテンの回収・リサイクルにより、「エコマーク」認定を継続取得するなど、環境負荷の低減に寄与しています。※一部対象外商品あり



#### 業界団体で定められたマーク

##### 遮熱レース

カーテンの機能性によって電気使用量を減らし、環境負担の低減に貢献する商品の開発を行っています。



##### 夏ECOランク

ボイルやレースなどの薄地カーテンは太陽光による室温上昇を緩和し、夏の冷房効率を嵩め、省エネルギーにも役立ちます。

##### 学校夏ECO

夏の太陽光による教室の室内温度の上昇を抑え、冷房効率を高め、学校施設の省エネに役立ちます。

#### 自社マーク

##### 保湿ランク

窓にドレープカーテンをかけることにより、開口部からの熱の出入りを抑制し、暖房効率を上げて省エネルギー効果を高めます。



夏の室内温度上昇の緩和、冬の暖房効果を高める商品をラインナップ・ランク分けし、わかりやすく記載しています。



薄地の遮熱性能を表す統一基準

## 遮熱

### — 遮熱マークとは

一般の薄地と比較して、遮熱効果が認められ、一般社団法人日本インテリア協会(NIF)に定められた「カケンレフランプ法」の判定基準に適合する薄地カーテンに表示することが可能なマークです。

### — カケンレフランプ法

- 熱線受光体の約5m上に試験体を保持し、更にその上約5mmにガラス板を設置し試験体とする。
- 指定側面からランプ(100V500W)を約50cmの距離で15分間照射して熱線受光体の表面温度をサーモカメラを用いて経時的に測定する。
- 試験体とプランクの位置を入れ替えて2回測定し、平均値を試験結果とする。
- プランクとして試験片なしの試験体を対角線上に設置し、同時に測定を行い遮熱を算出する。

### 判定基準

項目	判定基準
遮然率	25%以上 (小数点第1位四捨五入)
遮光率	99.4%未満 (株光率0.6%以上)

$$\text{遮熱率} (\%) = \frac{(\text{プランク上昇温度試料の上昇温度})}{\text{プランク上昇温度}} \times 100$$

**夏ECO  
30%以上  
ランクSA**

室温上昇を抑える薄地カーテンの遮熱性能を5段階のランクで表示

効果は、シミュレーションプログラム (P.142参照) によって算出した数値であり、保証値ではありません。目安としてご活用ください。

ポイルやレースなどの薄地カーテンは太陽光による室温上昇を緩和し、夏の冷房効率を高め、省エネルギーにも役立ちます。明るさを取り入れつつ、遮熱効果を高めたい場合の目安としてご活用ください。

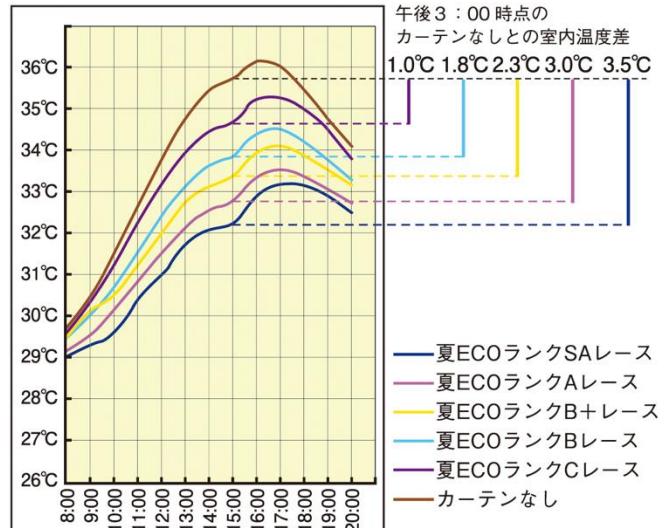
### — 夏ECOランク

ランク		夏ECO 30%以上 ランクSA	夏ECO 25%以上 ランクA	夏ECO 20%以上 ランクB+	夏ECO 15%以上 ランクB	夏ECO 15%未満 ランクC
省エネルギー効果	低減効果	30%以上	25%以上	20%以上	15%以上	15%未満
	消費電力量	-134 kWh	-109 kWh	-91 kWh	-71 kWh	-40 kWh
	電気料金	-4,154 円	-3,379 円	-2,821 円	-2,201 円	-1,240 円
	CO <sub>2</sub> 排出量	-50 kg	-41 kg	-34 kg	-26 kg	-15 kg

カーテンなしの場合

消費電力量 : 405 kWh 電気料金 : 12,555 円 CO<sub>2</sub>排出量 : 151 kg  
※電気料金は、2022年度 公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会による電気料金目安単価にて計算

### — 温度差シミュレーション



## 学校夏ECO

33%  
以上  
ランク SSS

室温上昇を抑えるドレープカーテンの遮熱性能を2段階のランクで表示

## 学校夏ECO

各効果は、シミュレーションプログラム（P.61参照）によって算出した数値であり、保証値ではありません。目安としてご活用ください。

学校向けドレープカーテンは太陽光による室温上昇を緩和し、夏の冷房効率を高め、省エネルギーにも役立ちます。明るさを取り入れつつ、遮熱効果を高めたい場合の目安としてご活用ください。

## — 学校夏ECOランク

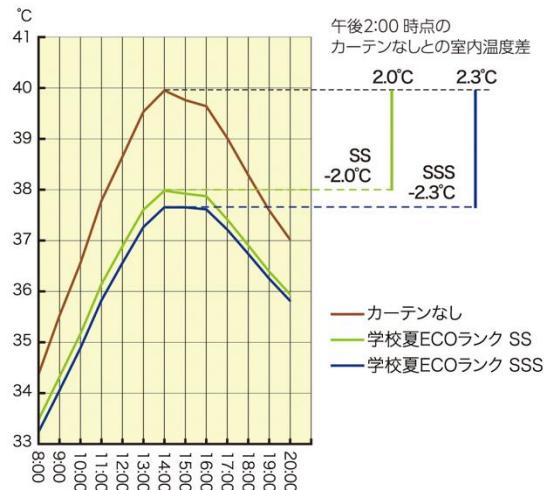
ランク		学校夏ECO 33% 以上 ランク SSS	学校夏ECO 33% 未満 ランク SS
省エネルギー効果 カーテンなしとの比較	低減効果	33% 以上	33% 未満
	消費電力量	-106 kWh	-102 kWh
	電気料金	-3,291 円	-3,167 円
	CO <sub>2</sub> 排出量	-39 kg	-38 kg

カーテンなしの場合

消費電力量：319kWh 電気料金：9,894円 CO<sub>2</sub>排出量：118kg

※電気料金は、2022年度 公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会による電気料金目安単価にて計算

## — 温度差シミュレーション



## 保溫

暖房効率を高めるドレープカーテンの保溫性能

20%  
以上  
ランク SA

## 保溫

各効果は、シミュレーションプログラム（P.142参照）によって算出した数値であり、保証値ではありません。目安としてご活用ください。

窓にドレープカーテンをかけることにより、開口部からの熱の出入りを抑制し、暖房効率を上げて省エネルギー効果を高めます。ご使用状況に照らし、カーテン選定の目安としてご活用ください。

## — 保溫ランク

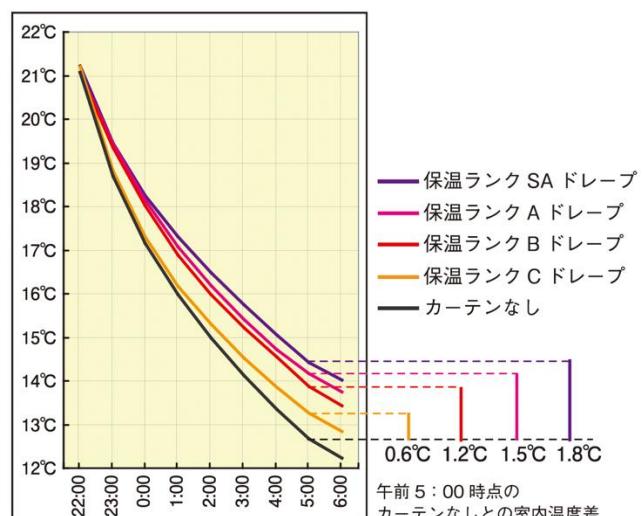
ランク		保溫 20% 以上 ランク SA	保溫 15% 以上 ランク A	保溫 10% 以上 ランク B	保溫 10% 未満 ランク C
省エネルギー効果 カーテンなしとの比較	低減効果	20% 以上	15% 以上	10% 以上	10% 未満
	消費電力量	-97 kWh	-83 kWh	-68 kWh	-34 kWh
	電気料金	-3,007 円	-2,573 円	-2,108 円	-1,054 円
	CO <sub>2</sub> 排出量	-36 kg	-31 kg	-26 kg	-13 kg

カーテンなしの場合

消費電力量：488kWh 電気料金：15,128円 CO<sub>2</sub>排出量：182kg

※電気料金は、2022年度 公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会による電気料金目安単価にて計算

## — 温度差シミュレーション



## — フロアカバリング商品

## SuMPO EPD 登録公開

川島織物セルコンは、2005年からタイルカーペットを中心に、SuMPO EPD（旧エコリーフ）による温室効果ガス（CO2等）排出量を登録、主にリサイクル原料の使用による削減効果を算出し公開しています。

現在は当社の主力商材であるビニル床タイルも含め、継続して登録公開を行っています。

## [登録公開達成率]

ビニル床タイル：約98%、ナイロンタイルカーペット：約99%

※2024年10月現在 ※一部対象外商品あり

## — SuMPO EPDとは

SuMPO EPDは日本で唯一のEPD（Environmental Product Declaration）

で、国際協調を目的として、2024年6月に「エコリーフ」から「EPD」を前面に打ち出した名称「SuMPO EPD」に変更されました。

LCAにより得られた製品の定量的環境影響データの第三者検証・公開を行うプログラムとして、一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）のホームページに公開されています。



## [公開先]

一般社団法人サステナブル経営推進機構 SuMPO環境ラベルプログラム

<https://ecoleaf-label.jp/>

## エコマーク認定品

川島織物セルコンのカーペットや置敷きビニル床タイルはエコマークを取得しています。廃床材リサイクル循環システム「e-RECYCLED」により、ライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく環境保全に役立つ商品と認められました。※一部除外品あり



## グリーンラベルプラス認証取得

川島織物セルコンのタイルカーペットは、GREEN LABEL PLUSを取得しています。GREEN LABEL PLUSは、米国CRI（カーペット＆ラグ協会）が認証するカーペット、ラグ製品の屋内空気環境の認証制度です。これにより、お客様のプロジェクトにおけるLEED認証の取得のためのポイント獲得に貢献します。



## グリーン購入適合品

川島織物セルコンのタイルカーペットやビニル床タイルは、グリーン購入法適合品です。

## タイルカーペットの場合

カーペットの判断基準「製品の原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクルにおける温室効果ガス排出量を地球温暖化係数に基づき二酸化炭素相当量に換算して算定した定量的環境情報が開示されていること」などを満たしています。※一部除外品あり



## ビニル床タイルの場合

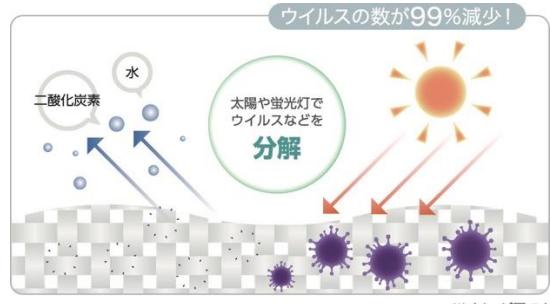
ビニル系床材の判断基準「再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されていること」を満たしています。※一部除外品あり

## クリーンで快適な室内環境づくり

### 光媒体を利用した環境改善機能「セリスト加工」

セリスト加工は、自然光のエネルギーを利用して、繊維上に付着した特定のウイルス数を減少させる機能で、加工が施された物を清潔に保つことができます。

また、アンモニア等の悪臭原因物質に対する消臭機能や、室内に継続的に放出されるVOC（揮発性有機化合物）の軽減機能も期待できます。



### 抗ウイルス加工・制菌加工（SEKマーク）カーテン

生地についた特定のウイルスの数を99.9%減少させる機能でカーテンを清潔に保つことができ、24時間フル稼働・洗濯後も効果を維持します。

併用する制菌機能もSEKマークを取得しています。



#### 抗ウイルス加工（SEKマーク）

抗ウイルス加工

繊維上の特定のウイルスの数を減少させる加工を施している製品に付けられるマークです。



#### 制菌加工（SEKマーク）

制菌加工

繊維上の細菌の増殖を抑制させる、制菌加工の品質および安全性を保証する認証マークです。

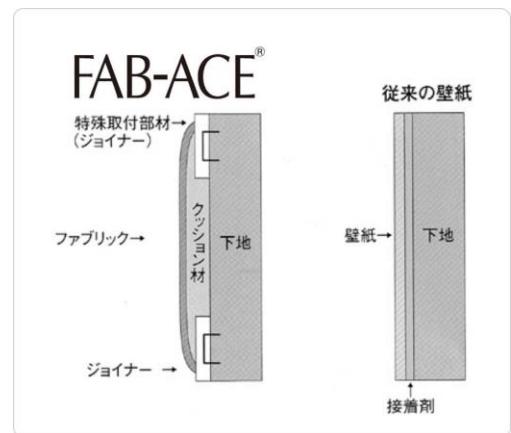
抗ウイルス加工の目的は、繊維製品に付着したウイルスの数を減少させて清潔に保つことであり、病気の治療や予防を目的とするものではありません。また、抗ウイルス加工はウイルスの働きを抑制するものではありません。

### 環境適合型壁装システム「FAB-ACE」

接着剤を使用せずにファブリックの脱着が可能な壁装システムです。

壁紙と異なり、模様替え時にファブリックだけの交換で済み、再施工時の廃棄物の削減にもつながります。また、特殊取付け部材「ジョイナー」の開発により、接着剤を使用しないので、VOC（揮発性有機化合物）も発生せずシックハウスの心配もありません。接着剤が乾くまでの不快な臭いもなく、施工後すぐに部屋の使用ができます。

（不燃認定取得）



## 再生可能エネルギーの利用促進

### グリーン電力を充当

置敷きビニル床タイルのリファインバックエグザは業界で初めて、製造における電力をグリーン電力で充当し、グリーン・エネルギー・マークを取得しました。グリーン電力とは風力・太陽光・バイオマスなどの自然の循環の中で生まれるエネルギー源を利用して発電された再生可能電力のことです。このグリーン電力の使用により、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献します。



#### — グリーン・エネルギー・マーク

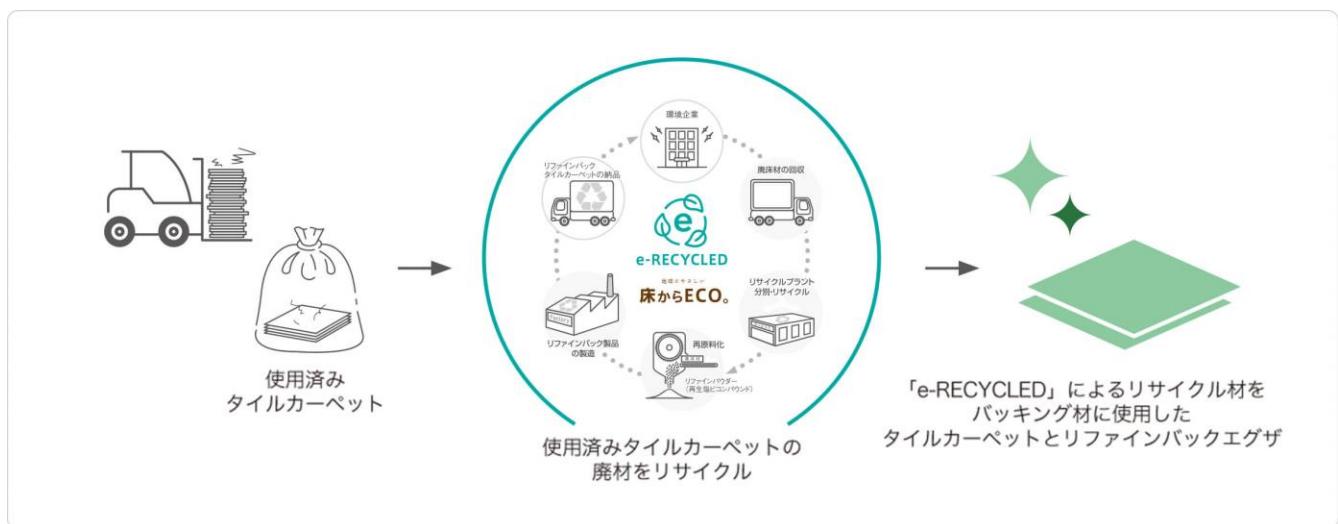
製品製造時に使用する電力をグリーン電力で充当している製品に添付するマークです。

## 《資源の循環利用の促進》

### カーペット・カーテンのリサイクルシステムの構築

#### 廃床材リサイクル循環システム「e-RECYCLED」

川島織物セルコンは、2003年に業界ではじめて使用済みタイルカーペットを再利用するシステム「e-RECYCLED」を構築しました。現場で出る廃材を捨てるのではなく、再び資源に変えて、タイルカーペットやビニル床タイルにリサイクルする取り組みを20年以上継続しています。産業廃棄物として埋め立て処理をされることが多いタイルカーペットをリサイクルすることで、埋め立て地に捨てられる廃材を減らし、持続可能な生産と消費活動に貢献していきます。



#### 広域認定取得によるケミカルリサイクル

川島織物セルコンのカーテン・カーペットには、使用後の製品を、完全リサイクルする仕組みを導入しています。

不要になったカーテン、カーペットを回収・粉碎したのち、循環再生利用設定のケミカルリサイクル手法で、CO2を発生させずに炭化水素油・ガス・炭素に再生します。

インテリア業界では、2010年3月に川島織物セルコンが初めて広域認定を取得し、確立した手法です。

この手法を用いてリサイクルを進めることで、産業廃棄物の削減に貢献します。



## 再生素材の利用

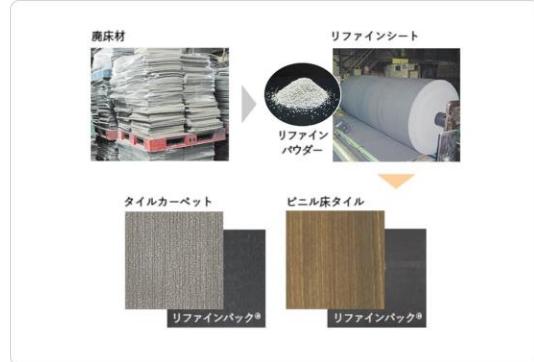
### 使用済みタイルカーペットの廃材を使用

川島織物セルコンのタイルカーペットや置敷きビニル床タイルは、廃床材リサイクル循環システム「e-RECYCLED」の構築により、エコマーク認定を受けています。

パッキング材の主要原料に本来は産業廃棄物となる使用済みタイルカーペットの廃材を使用することで、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>等)の削減にも貢献しています。

この「e-RECYCLED」システム適用商品は、ライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく環境保全に役立つ商品と認められています。

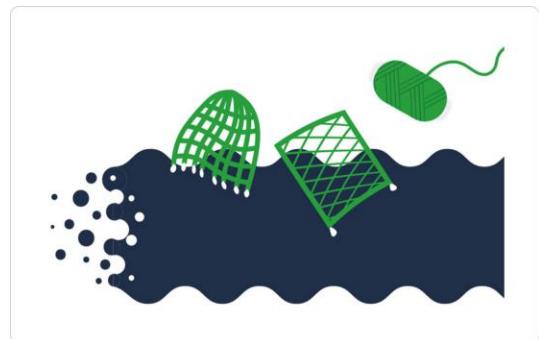
※一部除外品あり



### リサイクル糸を使用

川島織物セルコンのタイルカーペットは、アクアファイル社が開発した、世界の沿岸地域において問題となっている、海洋に廃棄された漁網や、繊維くず、古いタイルカーペットなどの廃棄物から再生された水平循環型のリサイクル100%ナイロン（エコニール）を使用しています。

※一部除外品あり



### — 床からエコとデザイン性の融合

#### iF DESIGN AWARD 2020 受賞

川島織物セルコンのタイルカーペットシリーズ「MODE STYLE」が、国際的に権威のあるデザイン賞の「iF DESIGN AWARD 2020」を受賞しました。

「iF DESIGN AWARD」はドイツのiFインターナショナル・フォーラム・デザインが主催し、優れたデザインの証として世界で最も認知されているデザインアワードの一つです。

高いデザイン性と環境への取り組みが評価され、プロダクトデザイン部門「iF product design award 2020」での受賞となりました。

[iF DESIGN AWARD \(https://ifdesign.com/\)](https://ifdesign.com/)



## ゼロエミッションへの挑戦

製造工程では、廃プラスチック等を再利用するなどの取り組みを重ね、2007年からゼロエミッションを継続しています。

物流・縫製の工程では、製造工程で生じる生地のロスを用いてカーテンのサンプルやノベルティを作成するなど、廃棄物を有効に活用することで、資源循環を目指しています。

### ゼロエミッションの定義

$$99\% < \frac{\text{有価物量} + \text{社外リサイクル量}}{\text{有価物量} + \text{廃棄物排出量}}$$

※ 廃棄物排出量=社外に持ち出した産業廃棄物及び事業系一般廃棄物

※ 社外リサイクル量=廃棄物排出量の内、埋立処分（単純焼却）せず再生利用・熱回収された量



## 廃材の有効活用

物流・縫製の工程では、製造工程で生じる生地のロスを用いてカーテンのサンプルやノベルティを作成しています。

また、生地や糸のロスを活用した小物の企画・販売やワークショップ開催なども行い、資源の再活用を推進しています。



## 《社外との連携》

### エコ・ファースト推進協議会での活動

環境大臣に宣言した「エコ・ファーストの約束」を確実に実践し、環境保全活動のさらなる充実・強化をめざして「エコ・ファースト企業」で連携して強力に推進していくことを目的にエコ・ファースト企業による自主運営組織「エコ・ファースト推進協議会」（2009年設立現在93社加盟）の一員として参加しています。

#### 「エコとわざ」への参加・表彰

地球の未来を担う小・中学生の環境意識の向上を目的に実施されている「エコとわざ」。全国の小・中学生からエコなことわざを募集、表彰しています。



#### 他社との情報交換会

ワタミ株式会社所有のファームを見学し、有機農業収穫を体験。また、有機農業による環境保全の取り組みについて学び意見交換しました。



#### シンポジウム開催

持続可能な社会の実現を目的に、環境に関する様々なテーマでシンポジウムをウェビナーで開催。

パネリストに教育の現場に関わる有識者を迎え、「環境教育と企業」をテーマに討論しました。



### 市・公的団体との連携

#### 環境教育の振興

京都商工会議所・京都教育委員会と協同して、子供たちの環境問題に対する意識と科学する心を育てるとともに、企業の取り組みやその技術への関心を深めることを目的とした「小学生への環境学習事業」に取り組み、織物と環境との関連をテーマに出前授業を行っています。

今年度は京都市立向島小学校、京都市立南大内小学校の2校で実施しました。



## 社会



## 《人権の尊重・労働慣行》

## 人権

## 人権の尊重

## — コンプライアンス規程

会社および役員・従業員が遵守する行動の規範を定めた「企業倫理規程」と具体的な8つの行動規範である「社員行動規範」を定めることで、従業員が法律や企業倫理を遵守し、社会との関わりの中で相互信頼と責任ある行動を果たせる体制をつくっています。

## 労働慣行

## 人事・福利厚生

## — 公正な人事制度と運用（人事制度ガイダンス）

各職務における発揮能力・貢献度を重視した報酬制度をはじめとする人事制度を導入し高い意欲をもった従業員の自己実現をサポートしています。これにより、チャレンジ精神に溢れた競争力ある企業の実現を目指します。

## — 働き方改革の推進（在宅勤務制度・時間単位有給休暇制度）

## 多様な働き方

在宅勤務の制度化・時間単位での有給休暇の取得を可能とするなど、多様な働き方を実現するための取り組みを推進しています。

2022年1月には、時間単位で有給休暇を取得できる制度を導入、これまでに約40%以上の従業員が利用しています。

通院や親の介護、子供の学校行事など、プライベートの用事に活用する例が増えています。

## — 残業時間の抑制

出退勤管理システムにより、残業時間の月中経過見える化し、長時間労働の抑制を図っています。

また、毎週水曜日は「ノー残業デー」とし、定時で仕事を終えて退社するよう呼びかけをおこなっています。

## 従業員の健康と安全

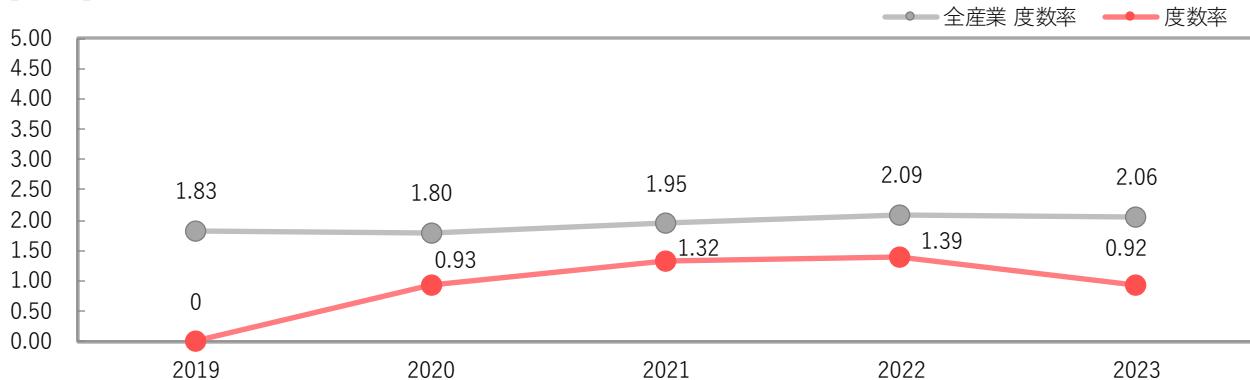
### — 安全で快適な職場環境の整備

#### 安全衛生委員会等での問題解決

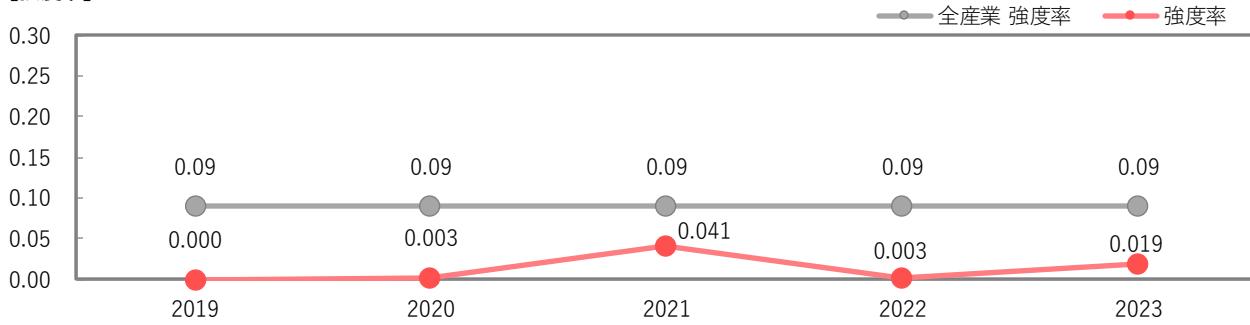
5S状況や作業状況を点検しリスクを抽出・是正をおこなう職場巡視や、事業所間で安全関連のノウハウや活動状況を共有しあう安全連絡会・研修会などを実施し労働災害ゼロを目標に、グループ一体となって災害の未然防止と意識向上に努めています。

#### 労働災害の推移

##### 【度数率】



##### 【強度率】



## 車両事故の削減推進

車両事故の撲滅をめざし、社用車事故撲滅委員会が中心となって、車両へ衝突回避支援システムなどの安全装備の設置を計画的に進めています。

また、社用車運転者や自家用車通勤者に対し、安全運転講習会を実施し交通安全啓蒙活動にも取り組んでいます。

## 受動喫煙防止への推進

全事業所での敷地内終日禁煙を実施しています。

### — メンタルヘルスケアの取り組み

産業医・看護師による定期面談や、ストレスチェック、メンタルヘルス研修等の実施に力を入れています。健康診断の結果返却の際は、看護師による個別面談を実施し、結果評価や今後気を付けるべき点等を直接フィードバックしています。面談が難しい地方拠点に在籍の従業員に対しては、診断結果書類にひと言メッセージを書いたメモを添えるなど、従業員一人一人と向き合っています。

#### 全員の健康に寄り添いたい

#### ～ 担当看護師の声～

##### — 対話の重要性

できるだけ多くの従業員と対話の場を設けることが重要だと考えます。二次検査対象者に病院受診を促す。病院選びや症状の伝え方のサポートをする。話して、受診のハードルを下げることで、健康を守ることができます。

一見問題がなさそうな方でも、話してみて初めてメンタル面の悩みに気づくこともあります。対話は、身体と心の健康を守るための重要な手段です。



##### — 今後取り組みたいこと

「予防」に力を入れて取り組みたいです。診断結果が悪くなる1歩前、2歩前に話すことができれば、病気の進行を食い止めることができます。

そのためには、定期的な面談が重要です。

これまで健康だった人に対しても、「いつもと違う」と異変を察知できるよう普段から話すことで、従業員の健康を守りたいです。

上記の取組について、従業員からは「面談を通して、健康面の不安なく安心して働けている」「生活習慣の改善に興味を持った」などの声が上がっています。今後も従業員の健康を守るための取組を推進していきます。

### — グループ安全連絡会・研修会の実施

事業所間で持っている知識・技術、ノウハウ、活動事例の共有や展開を行い、実行力のある安全担当者を育成し安全第一の風土づくりを目指しています。



## — 設備・施設のリスクアセスメント

各事業所にある危険性や有害性を特定し、リスクを見積もり優先度を設定、リスク低減措置を決定する活動を進めています。



## 人材開発

### — 研修の実施

入社者対象のフォローアップ研修、昇進後の各役職に対応した研修、新任管理職向けの研修など、それぞれの立場、役職に応じた研修を実施しています。

織物会社に勤める従業員として、織物を理解し織物文化の発展に貢献する人材を育成するべく、入社研修には、モノづくりを学べる本社市原事業所の生産現場研修や川島織物文化館の見学も取り入れています。



### — 資格取得推進

一般財団法人伝統工芸品産業振興協会が認定している「伝統工芸士」や、日本インテリア協会が創設した資格制度「窓装飾プランナー」について、試験料の負担、合格者へは報奨金支給など資格取得を援助しています。

## ダイバーシティ

### — 育児支援の充実

ワーク・ライフ・バランスを重視し、仕事と育児を両立できる環境づくりに力を入れています。出産する本人だけではなく、パートナーに対しても育児休暇制度の概要や取得のメリット等を伝える機会を持つなど、取得を後押しする取り組みを行っています。

男性の育児休暇取得者は、過去2年間で15%増加しています。実際に育児休暇を取得した男性社員からは、「生活の状況が変わる大変な時に、夫婦で一緒に娘のケアをできた」「子供の成長をリアルタイムで見ることができた」という声も上がっています。

取得者からの意見や問題点に耳を傾け、多様な働き方を今後も積極的に推進していきます。

## 《製品の品質と安全性》

### 品質管理の強化

#### 安全で高品質な商品提供を目指して

高品質で安全な商品をお客様に提供し続けることに創業以来こだわり、信頼いただける商品づくりに努めています。より安全で高品質な商品をお客様に提供できるよう、商品に求められる機能・性能を、よりユーザーに近い目線で検証・見直しを行っています。

#### 川島織物セルコングループ 品質マネジメントシステム体系図



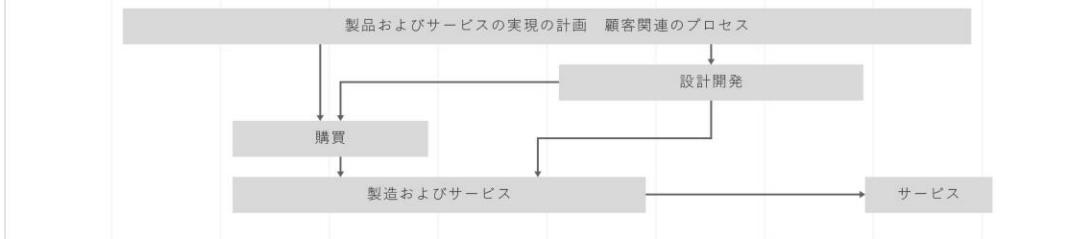
##### <方策策定プロセス>



##### <品質マネジメントシステム実行プロセス>



##### <製品実現のプロセス>



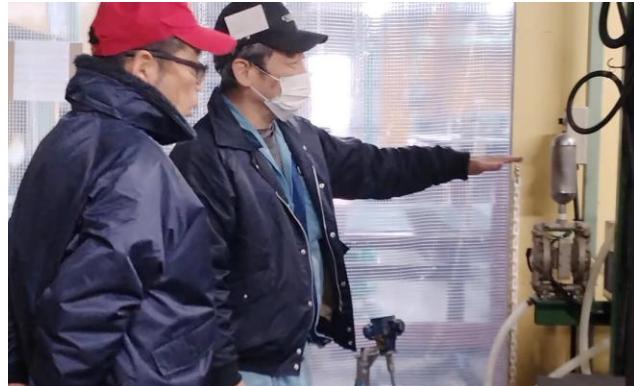
##### <測定・分析・改善のプロセス>



## 高品質な商品を生み出すプロセスの標準化

安定した品質確保のためには、品質のバラつきを徹底的に排除することが重要です。

商品の不良については発生要因を追求し、それに対する再発防止を実施していくプロセスを標準化出来るよう、協力工場と協働で活動を進めています。



協力工場での改善活動の様子

## 有害化学物質の削減

### 化学物質による環境への影響を最小化

製造プロセスで使用する化学物質による環境への影響を最小化するため、自社独自の化学物質管理基準で禁止と管理の区分を設け、製品への使用・含有を制限しています。

また、製造プロセスで使用される上記基準に含まれない化学物質についてもリスクアセスメントを実施し、リスクを低減するための措置（代替物質への置換、施錠管理、マニュアル整備、保護具の使用等）を施したうえで、定期的にリスクの見直しも実施しています。

## 製品安全対策

### 製品事故防止に向けた取り組み

カーテンやブラインド等の窓まわり商品は、お客様の生活中で身近にお使いいただくものですが、正しく使わないと思わぬ事故につながってしまうこともあります。窓まわり商品の安全対策として、ループ状の操作コードを廃したループレス式シェードを商品化しました。

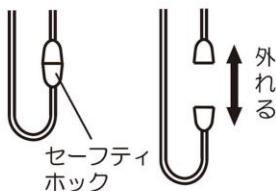
ループ状の操作チェーンやコードが無いので、小さなお子様のいるご家庭でも安心安全です。

操作部分がループレスでコンパクト、シンプルですっきりとしたデザインです。

片手でスムーズに操作ができ、引いた分だけスクリーンが上がる簡単操作。



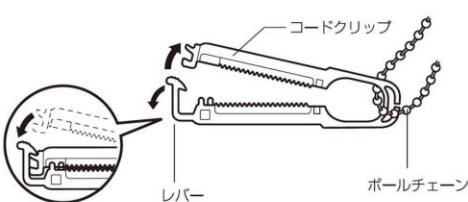
商品		安全対策
カーテン	シェード・コード式	セーフティホック
	シェード・チェーン式	コードクリップ
	装飾タッセル	セーフティリング
ロールスクリーン	チェーン式	コードクリップ



#### – 1. セーフティホック

コード式のシェードカーテンに付属する安全対策品です。

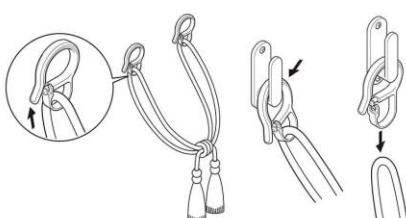
操作コードがお子様などに絡みついた場合に、一定の荷重がかかるとホックが外れます。



#### – 2. コードクリップ

チェーン式のシェードカーテンやロールスクリーンに付属する安全対策品です。

お子様がポールチェーンを首や体に巻き付けて思わぬ事故を招くことを防止します。



#### – 3. セーフティリング

装飾タッセルに付属する安全対策品です。

タッセルに一定の荷重がかかるとセーフティリングからタッセルが外れます。

## 《コミュニティへの参画と発展》

### 地域とのかかわりの緊密化

#### 施設提供をはじめとした地域とのつながり

近隣の小中学校へのグラウンド貸し出しや、地域のイベントへの会場提供などを通して、地域の皆様とのつながりを大切にしています。



#### 地域のイベントへの積極的な参加

近隣の図書館とのコラボ企画や、市原事業所のある京都市左京区主催のイベントに積極的に参加しています。

イベントで開催するワークショップでは、余り糸や生地の端材を活用しています。



#### 地域小学生環境教育の推進

市原事業所の近隣の小学校の児童を毎年受け入れ、工場見学や環境学習を実施しています。実際の製造現場の見学を通して、近隣の鞍馬川の水を活用した染めや、地域の大切な川を守っていくための排水の取り組みなどを伝えています。



## 地域企業とのコラボレーション

地域のさらなる活性化をめざし、地元の鉄道会社である叡山電鉄株式会社主催のハイキングイベントにて、川島織物文化館をゴール地として提供、休日特別開館やワークショップを実施しています。



## 地域住民の方々との交流

市原の生産工場で出る、余り糸や生地の端材を活用したワークショップなどのイベントを開催。たくさんの方々にご参加いただき、地域住民の皆さんとのコミュニケーションの場にもなっています。



### 地域の活性化をめざすプロジェクト

#### 市原活性化プロジェクト

川島織物セルコンの本社工場は、京都市の北部・市原という地にあります。

市原は鴨川の水源である鞍馬山・貴船山からほど近く山々に囲まれ、様々な動植物を目にすることができる非常に自然豊かな場所です。この自然の恩恵を受けながら、私たちはモノづくりを続けてきました。

この市原という地域、そして市原でのモノづくりを地域の皆さんにも知っていただきたい、楽しんでいただきたい、そんな想いから2018年に「市原活性化プロジェクト」を立ち上げ、工場見学会やワークショップなどの企画・運営を進めています。



## ガバナンス



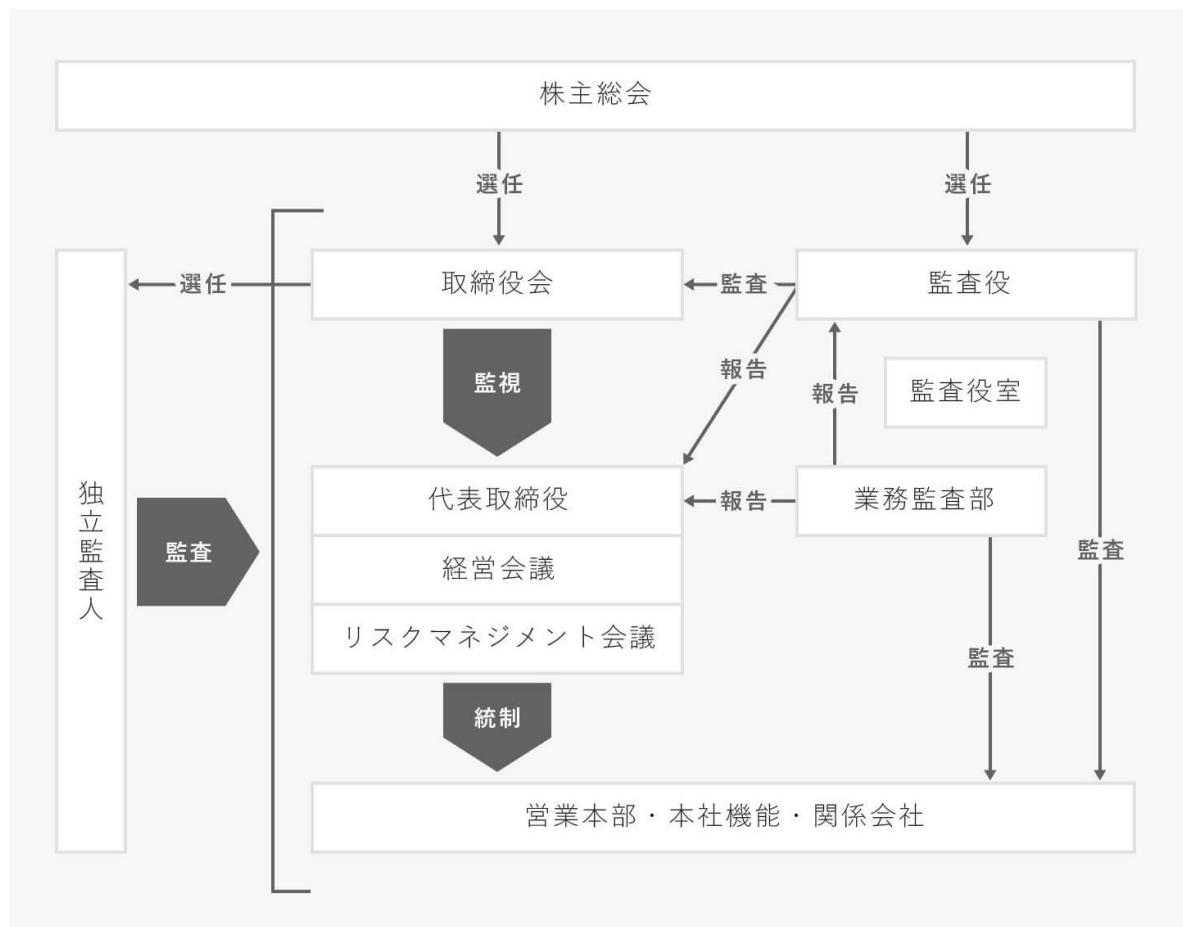
### 《ガバナンス》

## コーポレートガバナンス

### 企業統治

監査、経営統制、業務統制、内部統制、リスク管理、知的財産等、カテゴリー別の規程を定め、各々の相関性を可視化したマップを作成し、全従業員がアクセス可能な情報共有ツールで明示しています。

これにより、意思決定の責任や業務プロセスなどを明確化しコーポレートガバナンスの向上を図っています。



## リスクマネジメント

### リスク会議体の設定

リスク管理責任者および部門リスク管理者を設け、別途定めたリスク管理実施要領に基づいてリスクを分析・評価し、定期的に職務権限保有者へ報告する仕組みを構築しています。

懸念されるリスクについては、経営会議ならびに取締役会へ報告する体制をとることでリスクを組織的に管理し、リスクの低減を図るプロセスを構築しています。

### BCP管理

大規模地震等の自然災害が発生した場合においても事業が継続でき、かつ、重要業務の操業レベルを早急に災害前に近づけるべく、BCP（事業継続計画）を策定しています。

BCPでは、災害が発生した場合、どのような被害が生じるか、どのくらいの損失が生じるか、また、どの業務が危うくなるかを検討し、危機管理体制、復旧計画および被害の軽減計画等の概要をまとめています。

また、災害発生時の具体的な実施手順等を定めたBCPマニュアル、および実際に災害等などが発生した際に迅速かつ的確に対応をとるため、必要最低限の実施項目および手順を定めたBCPチェックリストを作成し、災害等発生時にそれらを有効に機能させるための教育・訓練も実施しています。



## コンプライアンス

### 内部通報制度

法令違反・規則違反などを第三者窓口へ通報する会社の内部通報システムを構築しています。外部委員として当社担当の弁護士、内部委員として各所属長・人事所管部門長・総務所管部門長が窓口となり、メールや電話等で報告できる仕組みをつくり、従業員の快適な職場環境作りに努めています。